普及所から㊹

早稲跡大豆不耕起栽培について

昨年から農事試験場で試験され始め、よい成績をあげている秋大豆の稲跡不耕起栽培について紹介します。

原理は至って簡単で、まず稲刈りの直前に大豆の種子をまき、コンバインで稲を刈り取りワラを覆土のかわりとし、排水溝を掘るというものです。

◎準備

種子はフクユタカかアキヨシを一〇㌃当たり一〇㌔用意し、これにベンレートT水和剤五〇㌘を乾いたままで粉衣します。

◎播種、稲刈り

稲刈りの直前または前日に、大豆種子を均一に稲の上からまきます。そして通常どおりコンバインで稲を刈り、切ったワラを覆土のかわりとします。吸水前の大豆は堅く、コンバインで踏んでも発芽への影響は少ないようです。

◎施肥、溝掘り

コシヒカリ専用肥料を一〇㌃当たり二〇㌔施肥します（稲刈り前でも可）。そして数メートルごとに溝を掘り排水対策をします。

◎発芽

数日後に発芽してきますが、このとき圃場が乾きすぎていると発芽しにくいので、そのような圃場では水を走らせ一度湿らせます。逆に過湿の場合は排水対策に努めてください。大豆は発芽時の過湿を最も嫌います。

◎除草

初期除草剤は使用せず、播種後十五～二十五日ごろ（イネ科雑草の分げつ始期）にナブ乳剤一五〇～二〇〇ccを一〇〇～一五〇㍑の水に希釈して一〇㌃に散布します。ナブ乳剤はイネ科雑草にだけ選択的に効く除草剤で、大豆に薬害はありません。

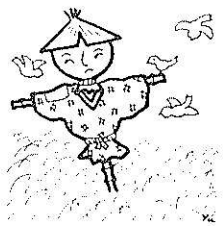
◎病害虫防除その他

前述の管理以外は従来の大豆栽培と同じです。

秋大豆は播種期が遅くなると著しく減収します。本方法は播種期を早めることができるため、従来困難なことの多かったコシヒカリの跡での大豆栽培も楽にできる可能性もできました。また、稲刈りとの労働の競合も回避できることから、大豆栽培の飛躍的拡大の道を開くものと思われます。

まだまだ試験中で開発途中の技術ではありますが、南国市に適した技術と思われますので試作してみてください。

【南国農業改良普及所】



今月の納税

市・県民税
（1期分）

納期限は6月末日です

市税は納期内に納付しましょう。

図書館から

読書会に参加しませんか

市立図書館で読書会を始めます。幼い時の記憶に残る絵本や童話、今自分の子供たちが夢中で読んでいる本、子供たちに読んでほしいと願う本、そんな本をみんなで読んで、感じたことを気軽に話し合ってみませんか。子供の本を仲立ちにした気楽なおしゃべり、ぜひ参加してください。

第一回は七月二十五日㈭、灰谷健次郎さんの「兎の眼」を読みます。図書館に十冊用意します。第二回からは、参加者の希望で本を決めます。

○日時・毎月第四土曜日　午後二時～四時
○場所・南国市立図書館二階
○代表者・三宮忠（物部）
○申し込み先・市立図書館（〒783　南国市東崎一三五五―七　☎(088)0469）

【市立図書館】

新刊案内

【一般図書】

神田鶴八鮨ばなし（師岡幸夫）▼養液栽培の新技術（農耕と園芸編集部）▼電気の歴史（直川一也）▼ぜんそく教室（中山博夫）▼満陽の月（水上勉）▼ニューセラミックスの世界（境野照雄）▼夢の木坂分岐点（筒井康隆）▼野鳥とつき合う本（滝川順雄）▼ビジネスマンの父より息子への30通の手紙（キングスレイ・ウォード）▼漆芸の伝統技法（佐々木英）▼思い浮かぶこと（飯田龍太）▼ちがうぼくととりかえて（清水えみ子）▼ワープロは10本指で！（富永直久）▼清朝の王女に生れて（愛新覚羅）▼鳥神話（岩本之則）▼秋色(上)(下)（平岩弓枝）▼朝日年鑑（朝日新聞社）▼日本アルマナック（教育社）▼子育てにテレビはいらない（岩佐京子）▼塀の中のプレイボール（安部譲二）▼老化をぶっとばそう（金子仁）▼秘密（池波正太郎）▼転職（早瀬圭一）▼日本やきもの紀行（芸術新潮編集部編）▼肝臓病の話（岩村健一郎）▼日本海からの殺意の風（西村京太郎）▼短歌入門（近藤芳美）▼詩学（西脇順三郎）